

日本工学会科学技術人材育成コンソーシアム  
2022 年度第 1 回コンソーシアム会議 議事録

日 時： 2022 年 4 月 22 (金) 13 時～14 時 20 分

場 所： Zoom ミーティング

出 席 者：(敬称略) 出席者下線

代 表：岸本喜久雄 副代表：荻窪光慈 (部会 2 主査)、山本誠 (部会 3 主査)

幹 事：白旗弘実 (部会 1 主査)

委 員：結城義敬、竹下隆晴、高橋章浩、松村暢彦、佐藤勲、中澤浩介、三田清文、新宮清志、蔦森秀夫、中村大介、井上裕嗣、廣瀬壮一

維持員：森田勉、

オブザーバ：馬場大輔、大坪梓、西尾崇、大槻肇

顧 問：有信睦弘、松瀬貢規

事務局：島田敏男

議 題： (順不同)

1. 2021 年度第 4 回コンソーシアム会議 (1/19) 議事録確認
2. 各部会報告
3. 第 3 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム報告 (2022/3/4)
4. 2022 年度人材育成コンソーシアム活動の進め方
5. その他

配布資料：

- 0-1： 2022 年度第 1 回科学技術人材育成コンソーシアム会議 議題表 (本紙)
- 0-2： 2021 年度コンソーシアム会議構成 (2022.4.22 現在)
- 1： 前回(2021 年度第 4 回)コンソーシアム会議 (2022/1/19) 議事録 (案)
- 2： 部会 1、2 報告
- 3： 第 3 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム開催報告 (2022/3/4)
- 4： (参考)2022 年度事業計画

議 事：

冒頭、新たにメンバーとなった白旗弘実幹事、竹下隆晴委員より挨拶があった。

1. 前回(2021 年度第 4 回)コンソーシアム会議 (2022/1/9) 議事録確認  
資料 1 に基づき前回議事録を確認し、承認された。
2. 各部会報告  
各部会からの報告に先立ち、岸本代表より、資料 4 に基づき人材育成コンソーシアムの活動概要について説明があった。

1) 部会 1,2 より、資料 2 に基づき、日本工学会会員学協会に対する「科学技術人材育成・教育支援に関する情報提供のお願い」について説明があり、コンソーシアム HP に既掲載の学協会は追加変更分のみ、また、教育支援に関する取組みについては特に児童・生徒・学生を対象とするものがあれば情報提供いただくことを特記して、依頼することとした。

2) 部会 3 報告は次項による。

### 3. 第 3 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム報告

資料 3 に基づき、第 3 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウムが第 1 部「技術者のダイバーシティ」、第 2 部「カーボンニュートラルへの挑戦」をテーマとして開催され、一般参加者 63 名の参加があり活発な討議が行われた旨、報告があった。第 1 部のモデレータを務めた山本副代表より、ダイバーシティといっても性別のみならず種々のダイバーシティがあり、興味深いとのコメントがあった。

次回の企画については、日本工学会の事業企画委員会が 7~8 月頃から企画を開始するので、コンソーシアムからもテーマを提案していくこととした。

### 4. 2022 年度人材育成コンソーシアム活動の進め方

#### 1) 会員学協会からの人材育成に関する話題提供とディスカッションについて

今回は計測自動制御学会を予定し、以降、土木学会、電気学会に検討いただくこととした。

このほか、経済産業省からも次回に資料を準備いただける見通しとのことであった。

#### 2) シンポジウム等の開催について

若手技術者の育成に関連して、大学教育・企業の社内教育・学協会のサポートなどについてディスカッションを行い、「若手技術者の教育」をテーマとした企業の教育担当部署・日本技術士会・CPD 協議会など関係個所との意見交換や日本機械学会とのシンポジウム共催も視野に入れて、継続的に活動を進めていくこととした。

### 5. その他

・有信顧問より、大学と産業界との連携はだいぶよくなってきたが、大学の各研究を束ねてコーディネートし、企業における開発に結び付ける立場の人が必要であり、その育成も課題となるとのコメントがあった。

・次回コンソーシアム会議は 2022 年 6~7 月頃開催予定とした。

以上